

南風

No.5

R5.10.16

相手を思いやり、笑顔で明るいあいさつを

～天南生がこれから目指していくこと～

学校運営協議会、潟上市教育委員会、PTA会員、教職員、生徒代表の50余名の参加により、熟議が行われました。本校での実施は初めてであり、グループ内で協議するメンバーも初対面でしたが、開会前から和気藹々とした雰囲気の中で会が進行されました。

今回のテーマは、「天南生は、こんな人に成長してほしい 私たちは、こんな人に成長したい」でした。各グループとも60分間が短く思えるような話し合いでした。メンバーから出された意見すべてが、よりよい天南生の在り方を考えさせられるものでした。また、

「広い視野で天南生を見つめ直すきっかけ」(藤田康太朗、新生徒会長)にもなりました。各グループからのまとめにも工夫が見られ、その発表内容に大きくうなづく様子が見られました。参会者からは、「しっかりと意見をもっていて、そして相手の話を聞ける生徒」(田村愛子さん、3年七海さんの母親)にも多くの賞賛が寄せられていました。

今回の熟議で、キーワードとしてあげられたものの中で、一番多くあげられていたものは「あいさつ」でした。これまで同様、相手を思いやり、笑顔で、明るいあいさつのできる天南生であることを、これからも大切にしていきたいものです。



<熟議とは...>

潟上市では、2018年度より市内全小・中学校がコミュニティ・スクールとなっております。本校でも、保護者や地域の皆さんの代表者で組織する「学校運営協議会」を、今年度も6月に実施し、学校運営の基本方針についての承認、学校運営について意見をいただいております。

学校と保護者、地域がパートナーとして連携・協同による取組を進めていくためには、関係者が「地域でどのような子供を育てるのか」という目標やビジョンを共有することが重要だとされています。そのために行う当事者による話し合いが「熟議」です。



熟議で取り上げられたキーワードから